

高校生をはじめとする若い世代の方々に、ひとり立ちのための必要な基礎知識を身に付けていただくため、「これであなたもひとり立ち」というワークブックを金融広報中央委員会で作成しています。今回、「人生にかかるお金、資産形成の視点」が追加され、資産形成の必要性や金融商品の選び方など将来を考える際のヒントになる内容となっております。ぜひご家族で話し合うきっかけとしていただけるよう、その内容をご紹介します。

人生にかかるお金、資産形成の視点

その1 人生にかかるお金はいくら？ ～生涯の支出～ 人生にかかるお金の予想額 → 約 円

人生で、どのくらいのお金がかかると思いますか？

資料1 教育費用の例

高校まで					大学		
万円					万円		
幼稚園	小学校	中学校	高校	総額		自宅生	自宅外生
私立	公立	公立	公立	600	国立	600	900
私立	公立	公立	私立	800	私立文系	700	1,100
私立	私立	私立	私立	1,800	私立理系	900	1,200

出所：高校までは、文部科学省「子供の学習費調査」（平成30年度）を基に作成。幼稚園3歳から高校3年までの15年間の学習費の総額。学習費は、学校教育費、学校給食費、学校外活動費の計。大学は、金融広報中央委員会『大学生のための人生とお金の知恵』（2020年12月版）。大学4年間にかかる入学金・授業料等と生活費の計。ともに、試算を簡単にするため、100万円単位にした。

資料2 住宅の購入費用の例

注文住宅	約5,400万円	分譲戸建て住宅	約3,800万円	中古戸建て住宅	約2,900万円
注文住宅*	約4,600万円	分譲マンション	約4,600万円	中古マンション	約2,300万円

出所：国土交通省「住宅市場動向調査」（令和2年度）。三大都市圏。*のみ全国。注文住宅には土地代を含む。

資料3 老後費用の例

国民年金（1人、満額）	6.5万円	厚生年金	22万円	老後のひと月当たり最低予想生活費…29万円
-------------	-------	------	------	-----------------------

出所：国民年金、厚生年金は、令和3年度分。厚生年金は、平均的な収入（平均標準報酬＜賞与含む月額換算＞43.9万円）で40年間就業した場合に受け取り始める年金（夫婦2人分の国民年金部分＜満額＞を含む）の給付水準。老後の予想生活費は、金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」（令和2年）の全国平均。

その2 人生で得られるお金は？ ～生涯の収入～

人生で、どのくらいの収入が得られるといますか？ 人生で得られるお金の予想額 → 約 円

その3 人生全体で「支出＜収入」にするには？ ～生涯の収支～ 人生全体で「支出＜収入」にするには、どうしたらよいといますか？

- ・「支出＜収入」とするためには、収入を増やすことと、支出を減らすことが考えられます。
- ・自分が思い描くライフプランを実現するためには、資金を用意していく必要があります。また、人生における不測の事態や困った事態（事故、病気、失業ほか）に備えるためにも、貯えをしておくことが欠かせません。さらに、老後は働いて収入を得ることが困難になることが予想されます。
- ・このため、「ふだんから、なるべく貯蓄、資産形成を心がけ、老後を迎えるまでには、ある程度の資産を形成しておく」、との長期的な視点を持つことが大切です。